



主催者挨拶 木村理事長



なごやかな懇親パーティー

第48回通常総会を開催

MDCの第48回通常総会は令和6年5月29日、組合会館において、県市関係指導機関の来賓列席のなかで開催しました。森田副理事長の開会の挨拶に続き、木村理事長が演壇に立ち主催者挨拶を行いました。この後、木村理事長が議長に選出され、議事が進行しました。

第1号議案の事業報告・収支決算及び剰余金処分案、第2号議案の事業計画と予算決定に続き、第3号から第8号議案までいずれも原案通り可決されました。

本総会の特徴としては、昨今の物価高を考慮した予算計画となりました。

議案の概略は、①事業報告では新型コロナウイルスの5類移行を経て、アウトレットセールやHRC事業は計画通り実施し、組合会館や共同ビル、立体駐車場の修繕を実施しました。収支決算では、予算比+2%の利益となりました。②事業計画においては、物価等上昇環境を考慮し、共同施設・共同駐車場の一部の利用率引き上げを検討実施していく計画です。③正組合員の賦課金は本年度も徴収しないこととなり、39年間連続で徴収しないこととなりました。

④一組合員に対する貸付金限度額は昨今の地価等上昇傾向を考慮し2期連続の評価額改定、土地1坪当たり48万円(+6%)と増加しました。⑤準組合員の加入事務手数料と月々の賦課金は、令和6年9月から引き上げとなります。

最後の第8号議案まで、全議案が承認可決され議事が終了したあと、この3月末日付で辞任した渡邊豊理事のご尽力に対し感謝の弁が述べられました。当日本人欠席のため後日、感謝状等を贈呈することとなりました。

このあと、当日の来賓から、金沢区役所の齋藤真美奈区長、全国卸商業団地協同組合連合会 伊藤三郎専務理事、株式会社商工組合中央金庫 神奈川営業部の大島一志営業第一部長からそれぞれ祝辞を頂き、宮崎副理事長の閉会のことばで第48回通常総会は終了しました。

第二部の懇親パーティーでは、公益財団法人 神奈川産業振興センター 経営支援部藤井俊之次長の乾杯の音頭で開宴し、談笑の絶えない明るい雰囲気の中に幕を閉じました。

理事長挨拶



風薫る季節に、本年の第48回通常総会も多数のご来賓のご出席を賜り、盛会裏に開催出来ました事、改めて組合員企業の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

令和5年度の事業について報告させていただきます。(1)組合の共同施設の維持管理、補修工事を実施し、共同施設の利便性向上に努めました。

(2)MDCアウトレットセールを毎月開催し多くの組合員企業の皆様と団地のブランディング力向上に努めました。(3)HRC主催の8つの研修事業を実施、ハローワークの協力を得て合同面接会を開催し人材教育・採用に注力致しました。このような事業を長年地道に行っ

ていることが評価され、令和6年1月の全国卸商業団地協同組合連合会主催の卸団地制度創設60周年記念式典において、経済産業大臣表彰を受彰いたしました。組合員のまとまった力が顕彰されたものとして皆様とともにこの栄誉を共有したいと思います。

さて、令和6年度は(1)団地内の防災・減災の意識を高め安全・安心クリーンなまちづくりの推進。(2)団地内施設の老朽化対策支援・団地内環境の安全性確保の推進。(3)HRC事業による人材育成及び共同採用事業の展開。(4)組合員企業各社の事業拡大機会の創出サポートの強化以上の事業を着実に進めて参ります。今後とも、国・県・市・金融機関をはじめとした関係指導機関の皆様により一層のご指導ご鞭撻を賜り、組合員企業各位のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

新入社員合同入社式・合同研修会



令和6年4月1日、2日に新入社員合同入社式・合同研修会を組合会館2階会議室で開催し、2社から9名の新入社員の皆様に参加しました。

合同入社式では、木村理事長から「ともに戦っていく仲間として、大きな期待を寄せています。絶えず変化していく世の中に対応し続けられるよう、自己変革の機会

を活かし、ともに成長していきましょう」との激励の言葉がありました。出席の新入社員はこれを真剣に受け止め表情を引き締める姿が印象的でした。

入社式・記念品の贈呈・記念撮影を終えた後は、2日間の研修会が始まりました。研修受講にあたって、緊張している様子はあったものの、(株)ビジネスコンサルタントの姉小路講師による社会人の基本的なマナー等を学びながら、グループワークやディスカッションが進んでいくうちに緊張もほぐれ活発に意見交換が行われ、充実した研修になりました。

すでに入社から2か月が経過し、新入社員の皆様は会社の雰囲気や環境に少しずつ慣れてきた頃かと思いますが先輩・上司との人間関係をいかに円滑に築いていけるかが、大事なポイントになります。自己啓発を行いながら、長く会社に定着されることを願います。

MDC組合会館隣接「幸浦二丁目公園への運動施設移転」反対について

横浜市金沢産業振興センターの一部に横浜市立中学校向け給食センターを建設する計画に伴い、同振興センター内運動施設の移転が検討されています。昨年令和5年11月に横浜市経済局からこの運動施設移転先としてMDC組合会館隣の幸浦二丁目公園を候補とすることについて、組合員企業の意見を伺いたいとの話がありました。当組合で団地内に常駐している企業86社に令和6年1月アンケートを実施したところ、78社が回答のうち75社(96%)が移転に反対でした。反対理由の多くは交通渋滞の懸念で70社(93%)でした。これを受けて、令和6

年2月理事会決議により、アンケート結果と組合として隣接公園への移転に反対する旨を横浜市経済局に対し、文書通知しました。

その後令和6年3月に横浜市から「幸浦二丁目公園を移転先候補としない」旨の回答があり、隣接公園は現状維持となりました。

組合員の皆様にはアンケート回答やご意見をいただきありがとうございました。今後も団地内の操業環境を維持すべく取組んで参りますので引き続きご理解ご協力賜りますよう、よろしくお願いたします。

横浜市立中学校向け給食センター 建設等説明会

令和6年5月13日、横浜市金沢産業振興センター大会議室にて、同振興センターの北側16,205㎡ 49百坪に建設予定の横浜市立中学校向け給食センターについて説明会が行われました。質疑では、給食センター建設工事や稼働後の配食に伴う交通渋滞問題や給食事業の地産地消の要望等、近隣事業者へのビジネスチャンスの配慮を求めたやり取りが交わされました。

給食事業入札希望企業を産連協へ報告

横浜市立中学校向け給食センターの説明会を受け、MDCでは組合員企業の入札に対する要望をまとめ、木村理事長から横浜金沢産業連絡協議会へ令和6年5月27日文書を持参し、入札参加を希望する組合員企業9社の取扱っている給食食材・作業服・記念品等、納品可能な商品を通知しました。

4社連棟 敷地内の共同下水管 バイパス新設工事を実施しました

4社連棟の共同ビルB棟において、経年劣化を原因とした共同下水管の詰まりが直近3年で3回発生し、頻度増加や洗浄作業コスト等が懸念されていました。4社協議の上、抜本的な解決策を模索し、令和6年2月に工事

を実施しました。工事内容は、車路と駐車区画を迂回した共同下水管・共同雨水管の新設バイパス工法です。この工法により経年劣化の影響を受けにくくなり、詰まりも生じにくい状態へと改善することができました。

理事会だより

2月定例理事会報告

- 開催日時 2月14日(水) 13:40～
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 12名
- 提出議案

- 第一号議案 幸浦二丁目公園の運動施設設置検討に関するアンケート結果結果報告及び横浜市への回答について
- 第二号議案 組合会館用地等の隣接者の大和ハウス工業(株)(旧BMW跡地)が短期転売することに対する横浜金沢産業連絡協議会の土地使用協定の近隣同意書捺印について

- 第三号議案 土地建物売却に伴う当組合出資持分譲渡承認の件
- 第四号議案 幸浦MDC地区まちづくり協定の「地域まちづくり組織」認定期限延長申請の件
- 第五号議案 第3四半期(令和5年12月9ヶ月)業績報告
- 第六号議案 転貸融資実行報告(令和6年1月分)
- 第七号議案 事務局職員(経理・総務系)採用の件(採用日 令和6年3月1日～)
- 第八号議案 その他報告事項
(1)今後のスケジュールの報告

3月定例理事会報告

- 開催日時 3月13日(水) 13:40～
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 12名
- 提出議案
 - 第一号議案 組合共同施設使用料(賃料等)の引上げ決定について
 - 第二号議案 三菱食品(株)の分社化に伴う75%出資子会社のエル・プラットフォーム(株)の当組合団地進出に伴う出資持分譲渡承認の件
 - 第三号議案 立体駐車場の消火設備の更新の件
 - 第四号議案 令和6年度基本方針(案)について
 - 第五号議案 新入社員合同入社式・研修会開催の件
 - 第六号議案 MDC団地内防災組織メンバー防災訓練実施報告
 - 第七号議案 転貸融資実行報告(令和6年2月分)
 - 第八号議案 その他報告事項
 - (1)代表者変更 (株)ユニマツトキャラバン
 - (2)防災用展示会実施報告
 - (3)今後のスケジュールの報告

4月定例理事会報告

- 開催日時 4月10日(水) 13:40～
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席理事 10名(1名欠席)
- 提出議案
 - 第一号議案 令和6年度基本方針について
 - 第二号議案 三和エナジー(株)の組合加入(準組合員)承認の件
 - 第三号議案 (株)ウィッシュボンの当団地内、新工場建設に関する幸浦MDCまちづくり協定・協定運営委員会審議の件
 - 第四号議案 MDCアウトレットセールsの感謝祭開催の件(年1回→年2回へ)
 - 第五号議案 横浜市による幸浦二丁目公園(組合会館の隣)の運動施設設置検討に関する横浜市への反対回答後の横浜市の検討結果報告について
 - 第六号議案 転貸融資実行報告(令和6年3月分)
 - 第七号議案 その他報告事項
 - (1)今後のスケジュールの報告

委員会だより

事業委員会報告

- 開催日時 2月16日(金) 10:00～
- 開催場所 組合会館2階会議室
- 出席委員 6名
- 提出議案
 - 第一号議案 会館テナント令和6年4月分からの売上

- 手数料改定交渉結果報告
- 第二号議案 (1)会館空きテナント賃貸先検討の進捗状況報告
(2)旧お菓子工場破綻に関する損失見込み額の報告

全国卸商業団地企業年金基金からのお知らせ

退職金の積立てに

全国卸商業団地企業年金基金 を活用してみませんか

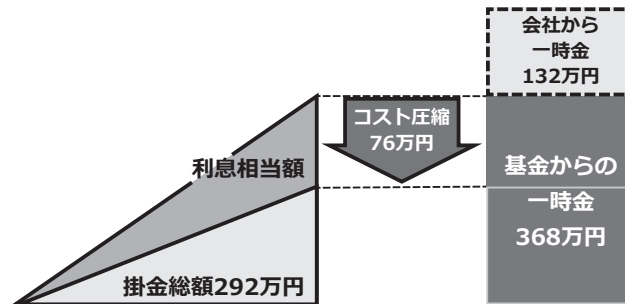
全国卸商業団地企業年金基金は、給付額が確定している確定給付企業年金です。

当基金のメリット

- ▷ 当基金では、加入者毎に仮想の個人勘定を設け**掛金に1.5%(複利)の利息を付与**しています。
- ▷ 掛金は損金算入できます。
- ▷ 平準的に積み立てることで資金繰りが安定します。
- ▷ 従業員が給付を受ける際には、退職所得控除もしくは公的年金等控除が受けられます。
- ▷ 新規加入年度の翌々年度まで事務費掛金が半額です。
- ▷ 退職金積立のコスト負担が軽減できます。
退職金規程で、規定する退職金総額に当基金から受け取る年金や一時金を含む旨を定めれば、利息相当額分の退職給付コストを圧縮することができます。

【 退職金総額500万円・従業員が30年間加入した場合の例 】

※平均基準給与30万円・上乘せ給付3倍型



※加入期間中の昇給の状況により一時金の額は変動します。基金の財政状況が大きく悪化した場合、追加の掛金をご負担いただくことがあります。事務費掛金は、30年間累計で216,000円(年間平均7,200円)ご負担いただけます。

当基金の加入条件など

- 原則として、厚生年金適用事業所で卸団地の組合員であること。または基金加入事業所の関連事業所。
- 基金加入時に卸団地の組合員であれば、その後組合員でなくなっても、当基金の加入は継続できます。**
- 卸団地の組合員以外で基金にご加入希望の場合は、個別にご相談ください。

お問合せ先

「全国卸商業団地企業年金基金」

☎03-3560-7017

東京都港区赤坂5-1-31

「協同組合 横浜マーチャングセンター」

☎045-784-1501

横浜市金沢区幸浦2-26-1

お知らせ

代表者変更

○(株)ユニマツトキャラバン

新代表者 落合 昭 旧代表者 菅田 貴人
変更日 令和5年11月15日

○大江電機(株)

新代表者 小池 毅至 旧代表者 大江 光正
変更日 令和6年4月1日

○(株)アイエー

新代表者 藤井 敏光 旧代表者 小熊 孝
変更日 令和6年4月1日

○渡辺商事(株)

新代表者 小島 俊二 旧代表者 渡邊 豊
変更日 令和6年4月1日

大規模修繕工事 着々と

MDC団地内の建物のほとんどは築40年以上経過しており、多くの組合員企業において計画的に大規模修繕工事が実施されています。直近では、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)金沢支店の屋上防水・外壁塗装工事が実施されました。



MDCアウトレットセール 今後の開催日程

令和6年7月、8月、9月の開催日時は、次の通りです。

- 7月27日(土) 午前10時
- 8月24日(土) 午前10時
- 9月28日(土) 午前10時

なお、MDCアウトレットセール開催時にMDC組合会館で配布している立体駐車場の駐車サービス券は、通常営業中の組合員へ迷惑とならないように『入庫から3時間無料』へ令和6年4月から変更しました。ご理解ご協力のほどよろしくお祈いします。

新規加入企業

★新規正組合員 エル・プラットフォーム(株) 概要

- 商号 エル・プラットフォーム(株)
- 代表者 代表取締役 田中 勝久
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 14名
- 事業内容 低温食品に関する物流等

(三菱食品(株) 分割継承)

令和6年4月1日付、前組合員企業三菱食品(株)と(株)キューソー流通システムの出資により設立した、エル・プラットフォーム(株)が、会社分割により承継・持ち分譲渡され正組合員加入となりました。

★新規準組合員 三和エナジー(株) 概要

- 商号 三和エナジー(株)
- 代表者 代表取締役 高松 克行
- 資本金 9,000万円
- 従業員数 360名
- 事業内容 軽油、重油その他の石油類の販売等

(前準組合員 ヒラオカ石油(株)からグループ再編で賃貸入れ替え)

前準組合員であったヒラオカ石油(株)が所属する宇佐美グループ再編により、グループ内企業の三和エナジー(株)として営業開始し、入れ替わりで団地内賃貸入居することとなり、三和エナジー(株)は、令和6年4月10日付準組合員として加入しました。

委員長 人事異動のお知らせ

●事業委員会

渡邊豊氏の組合理事辞任に伴い、後任の委員長として森田俊氏(副理事長と兼務)が就任しましたのでお知らせします。

新入職員紹介



令和6年3月1日付で渡部しおりを事務局職員として迎えました。令和5年9月から派遣社員として勤務していますので既に面識のある方もいらっしゃると思いますが、本紙で改めてご紹介いたします。今後とも、よろしくお祈いいたします。

組 合 日 誌	
1月	2月
10日 新年賀詞交歓会(当組合・社長の共催)	2日 9日 16日 22日 職長教育研修会 全4回
17日 県・市・各種指導機関等へ新年挨拶回り	14日 三役三委員長会議、社長会定例会、定例理事会
18日 中堅次期リーダー実践研修(応用編)	15日 中堅次期リーダー実践研修(応用編)
22日 商団連 新年賀詞交歓会及び60周年記念式典	16日 事業委員会
27日 MDCアウトレットセール	17日 MDCアウトレットセール
	21日 緊急電話訓練 及び 水消火器操法訓練
3月	
13日 三役三委員長会議、社長会定例会、定例理事会	15日 普通救命講習会
14日 中堅次期リーダー実践研修(応用編)	23日 MDCアウトレットセール
	21日 団地内統一清掃

～ 編集後記 ～

■日本は山国。面積のわりに平地が少ないので、勢い上か下に伸びていく。鉄道も同じ。GWにリニア実験線を見た。速いというか、消える感覚に近い。驚嘆する小学生の傍で、本当に必要か?と思ったのは小生だけではあるまい。■静岡工区での着工遅れで、開業時期が見通せないという。いろんな意見があるが、岐阜県瑞浪市で井戸水が枯れるなど、水源に異変が生じたというニュースを聞くと、やはり水問題は重要だろう。手付かずの自然が残されていて、掘削実績がない南アルプスではなおさら「なにがどこに、どのぐらい、いつから」あるのかわからない。■「山師」という言葉がある。鉱脈を捜すひ

と。掘ってみなければわからない。いかさまと同義で語られることが多々ある。要は、山や地面を掘ってその下になにがあるか、当てるのはそれだけ難しいということだろう。■いかに自然を残して開発をすすめるか?古今東西、悩んでも悩み切れない大きすぎる問題である。生物にとって、生きるための最低条件、空気と同じように必要なのが水。それをないがしろにしてまで、スピードが必要なのもう一度考えてみたい。失ってからでは遅い。同じ轍は踏まないようにしたいものだ。

(総務委員長 加藤 武男)